

**認定 NPO 法人沖縄・球美の里**  
**広河隆一氏によるセクシュアルハラスメントに関する**  
**調査報告書 概要版**

2019年9月11日

弁護士法人早稲田リーガルコモンズ  
早稲田リーガルコモンズ法律事務所

**1. 調査の概要**

**(1) 調査の実施経緯・目的**

『週刊文春』2019年1月3・10日号、当時認定 NPO 法人沖縄・球美の里（以下「球美の里」という。）の名誉理事長であった広河隆一氏（以下「広河氏」という。）によるセクシャルハラスメントが掲載された。

これを受けて、球美の里は、球美の里における広河氏によるセクシュアルハラスメント行為の有無および内容について調査を実施した。

**(2) 調査の委託先の概要**

球美の里は、本件調査の公正と情報の秘匿性を確保するため、2019年1月17日、広河氏によるセクシュアルハラスメントに関するアンケート調査の実施を当事務所に委託した。

**2. 調査の結果**

**(1) 第一次調査**

ア 2019年2月5日より、当事務所は、以下の調査を行った（以下「第一次調査」という。）。

調査対象者	スタッフ・ボランティア経験者	保養プログラム参加者の保護者
調査手法	郵送によるアンケート調査	郵送によるアンケート調査
調査実施期間	2019年2月5日～2月20日	2019年2月18日～2月28日
アンケート発送者数	481名	473名
アンケート回答者数	129名	199名

イ 第一次調査において、保養プログラム参加者の保護者のうち、自らがセクシャルハラスメントを受けたと回答した者は0名であった。

また、他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているのを見たことがある又は他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているとの具体的な話を聞いたことがあると回答した者も0名であった。

ウ スタッフ・ボランティア経験者のうち、自らがセクシャルハラスメントを受けたと回答した者は0名であった。

また、他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているのを見たことがある又は他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているとの具体的な話を聞いたことがあると回答した者は15名であった。もつとも、15名のうち、連絡先の回答があった者は9名であった。したがって、追跡調査対象者は9名となった。

## (2) 第二次調査

ア 第一次調査の結果を受け、当事務所は、スタッフ・ボランティア経験者のうち、他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているのを見たことがある又は他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けているとの具体的な話を聞いたことがあると回答し、かつ連絡先の回答のあった9名に対して、更なる追加調査を行った（以下「**第二次調査**」という。）。

調査対象者	スタッフ・ボランティア経験者9名
調査手法	見聞きしたセクシャルハラスメントの内容に関する 書面調査およびインタビュー調査
第二次調査書面発送日	2019年6月7日～6月30日
第二次調査依頼者数	9名
第二次調査回答者数	4名

イ 第二次調査の対象となったスタッフ・ボランティア経験者のうち、他の者が広河氏からセクシュアルハラスメントを受けた又は他の者から聞いた広河氏によるセクシュアルハラスメントの内容を具体的に回答した者は0名であり、インタビュー調査に応じると回答した者も0名であった。

### 3. 結論

以上のように、第一次調査の結果を踏まえて行った第二次調査においては「広河氏によるセクシュアルハラスメントを見たあるいは聞いた」ことについて具体的な事実を回答した者は存在せず、インタビュー調査に応じると回答した者もいなかった。

したがって、調査の結果、球美の里において、広河氏によるセクシュアルハラスメントがあったとのする事実は、確認できなかつたと結論する。

以 上